



市民の木(昭和51年指定)  
垂水区旭が丘1丁目8-9 青木寺境内

37 せいぼくじ  
青木寺の  
クロマツ

樹種 クロマツ

高さ 3m 幹周 1.2m

枝張 10m



美しく刈り込まれた庭園樹

- 階段を登ってすぐ右側にあり、竹の支柱の上で地面すれすれに枝をいっぱいに広げている。
- 毎年1回剪定し、庭園樹として美しく手入れされている。
- 現在は生垣になっているが、家が立ち並ぶ前は、マツ越しに瀬戸内海が望めたという。



市民の木(昭和51年指定)  
垂水区天ノ下町9-26 洞養寺境内

38 どうようじ  
洞養寺の  
クヌギ・クロマツ

樹種 クヌギ・クロマツ

高さ 17m・13m

幹周 2.4m・1.7m

枝張 17m・5m



裏門そばのクヌギ、空高くそびえるクロマツ

- クヌギは寺の境内を左手に進み、墓地を抜けた裏門のそばに生い茂っており、根は東隣にある「くがの公園」側に露出している。
- クロマツは門堂をくぐって左手にあり、枝をあまり広げずに、空高くそびえ、太い幹は風格がある。
- 明治6年、西垂水村の小学校はこの寺で「徹道小学校」として発足した。これが現在の垂水小学校の前身。







市民の木(昭和51年指定)  
垂水区西舞子1丁目5-7 舞子六神社境内

39 舞子六神社の  
エノキ

樹種 エノキ

高さ 13m 幹周 2.1m

枝張 14m



旧山陽街道から望むエノキ

- エノキは本殿の左奥にあり、旧山陽街道からもよく見える。
- 木の隣には日本最大の石造りのエビス、ダイコク像が立っている。
- 神社の前の道が旧山陽街道(旧国道)で、昭和8年に現在の国道2号ができるまでは、旅人や馬車、自動車にぎわっていた。

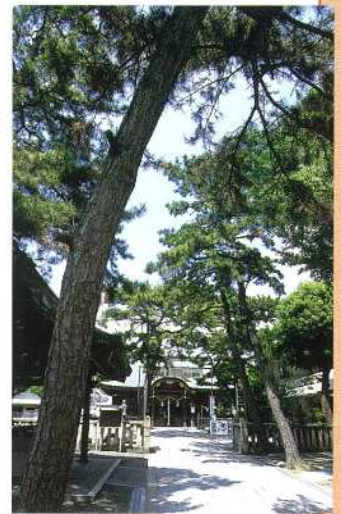


市民の森(昭和49年指定)  
垂水区宮本町5-1

26 海(綿津見)神社

構成樹種 クロマツ、クスノキ、イチョウ、ケヤキ、ウバメガシ、アラカシ、ネズミモチ、マサキほか

面積 2,300㎡



手入れの行き届いた境内の樹林

- JR垂水駅のホームからも見ることできる境内はよく手入れされ、クロマツ、クスノキ、イチョウをはじめ高木が目につき、低木や下草はほとんどみられない。
- 本殿北側には立入禁止区域があり、自然の樹林が残されている。

